

平成 20 年 11 月 17 日

各位

会社名 アンジェス MG 株式会社
代表者 代表取締役社長 山田 英
(コード番号 4563 東証マザーズ)
問合せ先 経営企画部長 林 毅俊
電話番号 03-5730-2480

**NF- κ B / Ets リボン型デコイの腹部大動脈瘤に対する
有効性を動物試験において確認
—米国心臓協会(AHA)年次学術大会 2008 で大阪大学が発表—**

大阪大学が行った NF- κ B/Ets リボン型デコイの研究において、腹部大動脈瘤に対する有効性が動物試験において確認され、同大学の研究グループが米国心臓協会(AHA)年次学術大会 2008 において 11 月 9 日に本研究成果を発表いたしました。

NF- κ B/Ets リボン型デコイとは、NF- κ B 及び Ets の二つの転写因子に対する阻害作用を有するダブルデコイで、血中での安定性を高める目的でリボン型(末端領域をサークル状に修飾した改良型デコイ)に構造を変化させたものです。

本研究においては、NF- κ B/Ets リボン型デコイをラットの腹部大動脈瘤モデルに腹腔内に投与したところ、コントロール群と比較し、統計学的に有意に動脈瘤の大きさを抑制しました。また、動脈瘤に関連する MMP(matrix metalloproteinase)においても、NF- κ B/Ets リボン型デコイは、従来型の NF- κ B/Ets デコイと比較し、統計学的に有意に抑制しました。

腹部大動脈瘤は、基本的に薬剤で治療することは難しく、時間の経過とともに拡大していく疾患です。また、今回抑制した MMP は、血管壁のコラーゲンやエラスチンを破壊し、血管径を膨張させます。治療としては膨隆した動脈壁を取り除き人工血管やステントグラフトに置換する手術が主に行われておりますが、薬剤による治療が可能となった場合には、非侵襲的な治療のため、患者様にとって大きな負担の軽減になる可能性があります。

また、今回の試験結果は、局所投与を前提とする従来型デコイと比較し、リボン型デコイの生体内での安定性向上を示唆しており、当社としては、NF- κ B/Ets リボン型デコイの応用により、腹腔内投与、さらには静脈内投与(全身投与)による、患者様にとって侵襲性の少ない腹部大動脈瘤の治療薬開発につながることを期待しています。

以上